

平成27年9月18日(金)
国土交通省 関東地方整備局
港湾空港部

記者発表資料

台風17号、18号の豪雨により東京湾内に流入した大量の漂流物を回収 ～「べいくりん」等が流木等の漂流物を回収(最終報)～

国土交通省関東地方整備局は、台風来襲直後の平成27年9月10日(木)に、港湾業務艇(関東地方整備局保有)及び清掃兼油回収船「べいくりん」※(千葉港湾事務所所属)を急遽現地に派遣し、台風17号、18号に伴う豪雨により河川等を通じて東京湾内に流入した、流木等漂流物の現状把握を行うとともに回収作業を開始しました。

また、大量の漂流物を速やかに回収するため、「災害時の応急対策業務等に関する協定」に基づき(一社)日本埋立浚渫協会に出動要請し、漂流物の回収を行いました。

これらにより、合計7日間で昨年度一年間で回収した約2.5倍(約263m³)の漂流物を回収しました(流木93本(径15～60cm、長さ1.7～18m)、最大では18mを超える長さの流木を回収。(別添1))

今後も流木等の漂流物が確認された場合には、引き続き「べいくりん」にて、漂流物の回収を実施します。なお、この期間に東京湾の船舶航行への影響は出ておりません。

※「べいくりん」は、航行船舶の安全性の確保と海洋環境保全のため、漂流物の回収を行うと共に、油流出事故など災害発生時の油回収等を行う船舶です。(別添2)

現在、漂流物回収状況の映像を公開しています。

<http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/index.html>

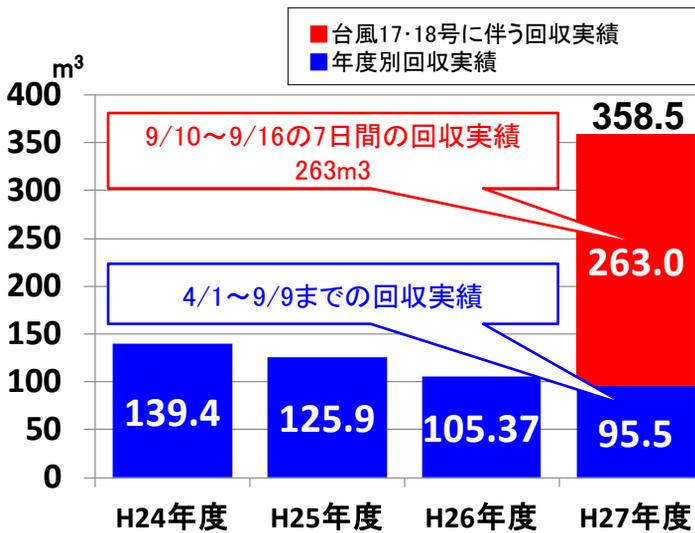
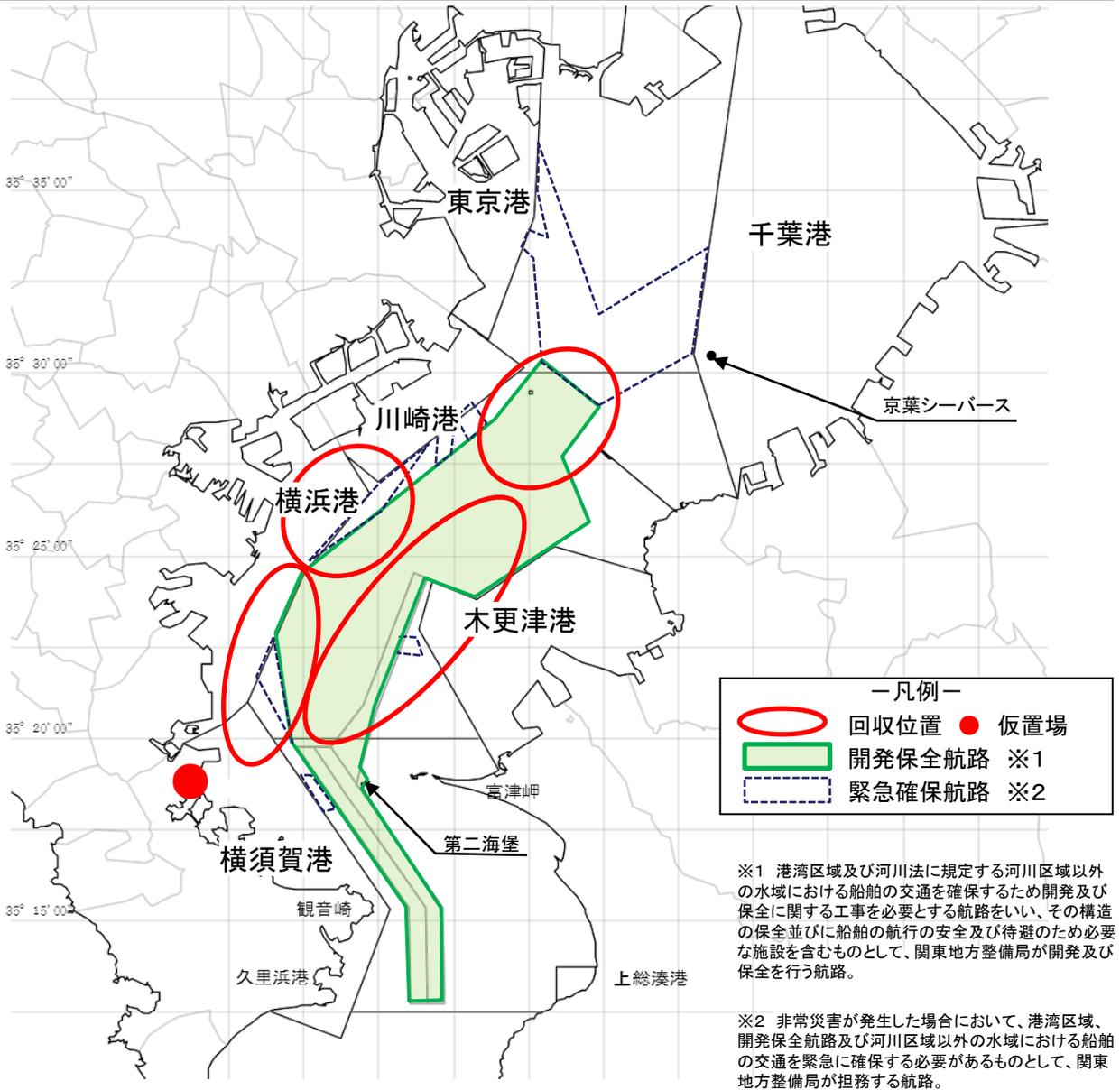
発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、埼玉県政記者クラブ

問い合わせ先

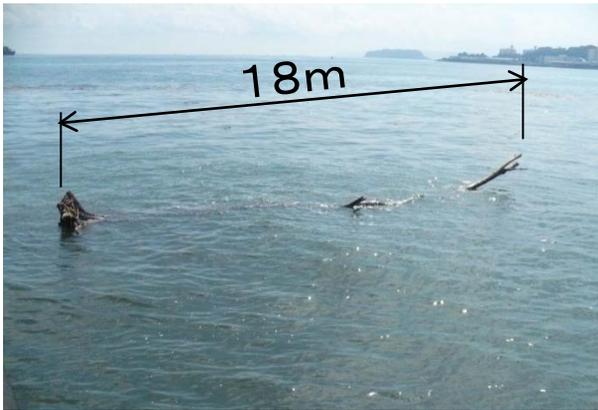
国土交通省関東地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課
課長 竹内 孝之(たけうち たかゆき)
課長補佐 中川 大(なかがわ ひろし)
電話 045-211-7420 FAX 045-211-0204

東京湾における「べいくりん」等による流木等漂流物の回収実績



回収日	回収量	回収物内容	
		■ 流木	■ 木片等の漂流物
9/10 (木)	47.8m³	5m程度×12本 7m程度×5本 18m程度×1本 小枝×40本	25m³
9/11 (金)	54.1m³	1.7~3m程度×9本 5~10m程度×3本	40m³
9/12 (土)	68.2m³	2m程度×4本 4m程度×1本 16m程度×1本	55m³
9/13 (日)	5.3m³	2m程度×1本	5m³
9/14 (月)	76.9m³	1m程度×1本 4m程度×11本 10m程度×1本	55m³
9/15 (火)	10.2m³	18m程度×1本	0m³
9/16 (水)	0.5m³	2.5m程度×1本 6.2m程度×1本	0.1m³
計	263m³	82.9m³※3 93本	180.1m³

※3 木材をチップ換算した数量



漂流している流木(径50cm×長さ18m)



回収した流木(径60cm×長さ5m)



流木回収状況
(べいくりんによる回収)



東京湾中央航路に押し寄せる漂流物
(べいくりんによる回収)



漂流する冷蔵庫



漂流するボート



クレーン台船による流木の回収状況
((一社)日本埋立浚渫協会による回収)



回収した流木
((一社)日本埋立浚渫協会による回収)



漂流物の陸揚に向かう「べいくりん」



漂流物の陸揚状況1



漂流物の陸揚状況2



回収した流木



漂流物の仮置き状況(全景)

清掃兼油回収船「べいくりん」の概要

関東地方整備局 千葉港湾事務所 所属



「べいくりん」
全長:約32.5m
全幅:約11.6m
総トン数:約199トン



“べいくりん”の業務

「海洋環境整備事業」の一環として、東京湾の一般海域において「浮遊ゴミの回収」や、東京湾の環境メカニズム解明のために、「水質及び底質の調査」を定期的に行っています。

また、油流出事故や、大地震などの災害が発生した場合には「浮遊油の回収」や「航路の啓開」を実施します。



油回収器



スキッパー



ゴミコンテナ



多関節クレーン

東日本大震災時の活動

震災直後には地震の揺れにより、千葉県市原市の製油所のタンクが破損したことにより流出した油の回収作業に当たりました。

また、海上物流拠点の仙台塩釜港や石巻港周辺海域で約1ヶ月間、がれきの撤去作業を行いました。